



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

星図は空にかざして使います。
東の空を眺めるときは、星図の東が
下になるように持ってかざします。

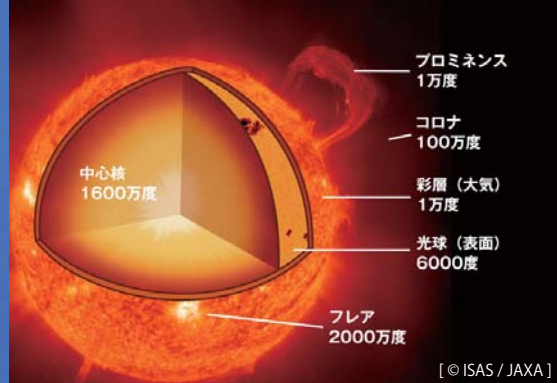
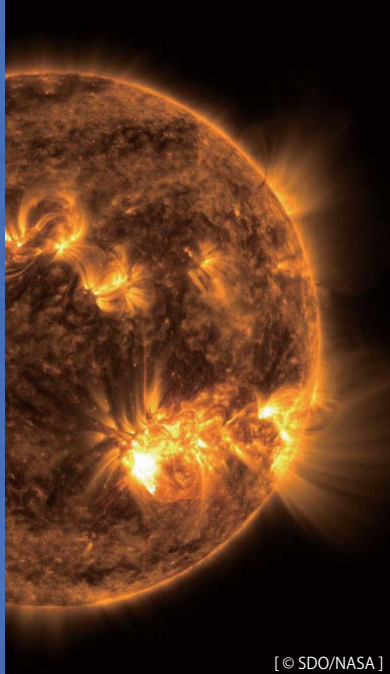
いて座

【学名】Sagittarius 【略符】Sgr
星座絵制作 / 大小島 真木



8/1
2
3 月とスピカが並ぶ（夕方～21時頃、西の空）
4 伝統的七夕 月とスピカが並ぶ（夕方～21時頃、西の空）
5
6
7 月とアンタレスが並ぶ（夕方南の空～23時頃南西の空） 立秋
8
9
10
11 山の日
12 月と土星が並ぶ（20時頃東の空～明け方西の空）
13 ペルセウス座流星群が極大 （見頃は前後数日間の深夜～未明。月があり見づらい）
14
15 月と木星が並ぶ（21時半頃東の空～明け方南西の空）
16
17
18
19
20 月、火星、すばるが並ぶ（午前0時頃～明け方、東の空） 【惑星探査機ボイジャー2号打上（1977）】
21
22
23 処暑
24 月とボルクスが並ぶ（午前3時頃～明け方、東の空）
25
26
27
28 水星が東方最大離角※
29 月と水星が並ぶ（夕方、西の空）
30
31 月とスピカが並ぶ（夕方、西の空）

身近な恒星、太陽



- ▲ 太陽大気構造と温度
- ▲ 太陽フレア（2022年4月20日 太陽観測衛星で観測）
- ▼ 黒点（2014年7月7日）



Courtesy of NASA/SDO and the AIA, EVE, and HMI science teams

まぶしく輝く太陽。その正体は「ガスのかたまり」です。中心部は超高温・高圧で核融合反応が起き、熱や光などを生み出しています。太陽の直径は地球の約109倍と巨大ですが、宇宙にはもっと大きな天体があり、さそり座のアンタレスの直径は太陽の約700倍ともいわれます。なお、アンタレスのような夜空に見える星々も、太陽も、どちらも同じ恒星という天体。太陽の研究は、太陽だけでなく他の恒星の理解にも役立ちます。ただ、太陽の観測はとても危険で、専門知識が必要です。肉眼でも、双眼鏡や望遠鏡でも、太陽は絶対に見ないでください。

